

令和 2 年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

<決算規模>

- ・歳入総額 365億4,295万円【前年度：258億3,459万円（41.4%増）】
- ・歳出総額 347億9,872万円【前年度：239億7,053万円（45.2%増）】

<収支状況>

- ・歳入歳出差引額 17億4,424万円【前年度：18億6,406万円】
- ・実質単年度収支額 4億2,971万円【前年度：1億0,114万円】

一般会計決算の特徴

- 歳入は、特別定額給付金給付事務費・事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金の増等により、前年度比107億0,836万円の増となっています。
- 歳出は、市営墓地拡張に伴う用地購入費の減などにより衛生費が減となったものの、特別定額給付金事業や特定教育・保育施設及び特定地域型保育扶助的委託料の増等による民生費の増や、タブレット端末購入費や小・中学校体育館空調設備設置工事費の増等により教育費が増となったことなどにより、前年度比108億2,819万円の増となっています。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、昨年度に引き続き4億2,971万円の黒字となりました。なお、財政調整基金残高は、前年度から5億0,519万円増の29億9,857万円となっています。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は93.8%で、前年度（94.1%）より0.3ポイントの減となり、改善されました。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）において基準値を大きく下回っており、本市の財政状況が健全であることを示しています。
- 令和2年度末の市債残高は178億0,762万円で、庁舎建設事業債や小・中学校体育館空調設備設置事業債の増などにより、前年度から12億7,191万円の増となりました。なお、市民1人当たりの市債残高は23万円となっています。

※表示単位未満を四捨五入しています。

（裏面へ続く）

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	674,080	639,246	34,834
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	5,237	4,460	777
介護保険特別会計	481,346	474,510	6,836
後期高齢者医療特別会計	98,375	95,907	2,468

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業会計	138,750	120,073	18,533	143	18,676
下水道事業会計	190,293	171,375	18,315	603	18,917

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

<p>記 者 発 表 資 料 令和3年8月25日 総務部財政課 財政グループ 担 当 者 / 主 任 柴 谷 亮 介 電 話 番 号 / 0 4 8 - 4 7 3 - 1 1 1 1 内 線 2 2 5 2 志 木 市</p>
